

タイ

The Kingdom of Thailand | タイ王国

実施時期 || 2023年8月～9月 費用 || 約35万円 上限人数 || 8名

タイは13世紀にスコタイ王朝によって築かれ、様々な王朝時代を経て、現在は立憲君主制になりました。面積は日本の約1.4倍ですが、人口は日本の約半分で、大多数が仏教徒のタイ族です。就業者の約40%弱が農業に従事していますが、GDPに占める割合は12%に留まっています。それに比して、製造業の就業者は約15%ですが、GDPに占める割合は約34%、輸出額の約90%弱を占めています。首都バンコクは華やかな大都市ですが、数多くのお寺が残る歴史と文化の都でもあります。バンコクにあるスワナプーム国際空港は東南アジアのハブ空港で、コロナで観光客がかなり減少していましたが、最近は入国制限を完全に撤廃し、観光客が徐々に増え続けています。



学生・教員の声

バンコクでは華麗な王宮をはじめ、街のいたるところに由緒ある黄金の仏教寺院で黄金に輝く釈迦像を見ることができます。また、麺類やフルーツなどの露店がーか所に集まって販売する「ストリートフード文化」は安いので、いくつもの露店からいくつもの食べものを食して楽しめます。その他に、ナイトマーケットでは民芸品の小物、タイ製のコットン素材ショールや服、文具やシャンバックなど様々なものが並ぶので、面白いものを発見するかもしれません。しかし、人混みのところに行くときは、パスポートは持って行かない、カバンを体の前に持つなどの対策をしましょう。

プログラム概要

期間 || 2023年8月下旬～9月上旬 / 10日間程度

ランシット大学で挨拶などタイ語の導入とタイ文化体験講座を受講します。主要なプログラムはランシット大学で日本語を学ぶ学生との協働のもと、「ガイドブックにないバンコクツアー作成」のワークショップになります。タイへの渡航は8月下旬～9月上旬の10日間程度を予定しています。渡航に先立ち、6～7月に事前学習を行います。事前学習では、タイの社会、文化についての理解を深めるとともに、日本語学習者とのコミュニケーションについても取り上げます。

【日程表(例)】

1日目	移動(関空発——バンコク着)
2日目	バンコク市内視察
3日目	ランシット大学でのオリエンテーション、アイスブレイク等
4日目	ランシット大学でのワークショップ1日目 タイ語・文化体験講座
5日目	タイ語・文化体験講座 日本大使館等の訪問
6日目	ランシット大学でのワークショップ2日目
7日目	ランシット大学でのワークショップ3日目(成果報告会)
8日目	アユタヤ視察
9日目	バンコク市内視察
10日目	バンコク市内視察
11日目	移動(バンコク発——関空着)



現地受入機関 | ランシット大学

受入先であるランシット大学はバンコクにあるスワナプーム国際空港から約50キロ北西の地域にある私立大学です。1986年にランシット・カレッジとして設立され、1990年に大学になりました。国の発展を支える人材を数多く輩出している大学でもあります。特に医療、理工、人文、芸術、経営といった5つの専門分野を学ぶことができます。すべての学部では、基本的なコンピュータ科目、英語、日本語などの外国語も勉強します。経済情勢や社会の変化に応じたカリキュラムと学習分野の開発を行っています。2020年に「グリーンライブラリー賞2020」を国際図書館連盟からランシット大学図書館が受賞しました。

現地受入機関 ランシット大学 Rangsit University
所在地 52/347 Muang-Ake, Phaholyothin Road, Lak-Hok, Muang, Pathumthani 12000, Thailand
URL https://www.rsu.ac.th/home
宿泊情報 受入大学の近くに宿泊する予定
ビザ 不要
予防接種 要確認

【FW費用概算】

出発前		滞在中	
渡航費	約20万円	食費	約2.5万円
海外旅行保険料	約1.5万円	宿泊費	約9万円
		交通費(現地)	約2万円
概算費用			約35万円

タイ

Kingdom of Thailand | タイ王国

実施時期 || 2024年3月～6月 費用 || 約61万円 上限人数 || 8名

応募条件 || 特になし

タイは13世紀にスコータイ王朝によって築かれ、様々な王朝時代を経て、現在は立憲君主制になりました。面積は日本の約1.4倍ですが、人口は日本の約半分で、大多数が仏教徒のタイ族です。就業者の約40%弱が農業に従事していますが、GDPに占める割合は12%に留まっています。それに比して、製造業の就業者は約15%ですが、GDPに占める割合は約34%、輸出額の約90%弱を占めています。首都はバンコクですが、留学先のチェンマイ大学はバンコクの北方約720キロに位置するタイ第2の都市チェンマイに位置しています。チェンマイは「北方のバラ」とも称される美しい古都です。チェンマイを中心にモン族、タイヤイ族、ビルマ族など様々な民族が交流するなか、建築や仏像の様式、言葉や料理、工芸の分野などで「ランナー文化」と称されるタイ北部独自の文化・伝統が育まれてきました。



学生・教員の声

チェンマイは自然豊かな山岳地帯で、気候は平野部より涼しく過ごしやすい気候です。山岳民族の文化に触れることができます。例えば、竹で編まれた高床式の家屋に泊まり、女性たちの機織りを見学したり、電気も水道もない村での素朴な営みを体験したりするなど、貴重な経験をいただけます。手作業による色とりどりの傘やモダンなデザインに仕上げたインテリア雑貨や洋服も魅力的です。大きな楽しみの一つはおいしいタイ北部料理です。マイルドな味のものが多く、辛いものが苦手という方も楽しめます。

プログラム概要

| 期間 | 2024年3月末頃～6月 / 12週間

語学研修

留学先はチェンマイ大学の人文学部 (Faculty of Humanities) になります。人文学部は9つの学科から構成されていて、タイ語のほかタイの歴史や文化も学べます。また、日本研究センターもあって日本に関心のある学生と交流することもできます。例えば、チェンマイ大学の学生が日本の文化に関心のあるタイ人学生と語学を教え合うという自主的な語学学習方法などもあります。そのほか、中国研究センター、韓国語センター、ミャンマー語センターもあり、タイ語を学ぶだけでなく、様々な分野を学ぶ学生と触れ合うことで刺激的な長期フィールドワークとなることでしょう。

【時間割】

	月	火	水	木	金	
9:00～12:00	Level 1～4 Lesson					フィールドワーク
13:00～16:00	Level 5～8 Lesson					



フィールドワーク

各自の関心に基づいたテーマによってフィールドワークの方法は異なるが、主に現地では収集できないような情報を得ること、そして、情報収集の際に現地の人々とコミュニケーションを図ることが共通の目的です。事前に予定されていたことが実現できなかった場合は現地で実現可能な代替策を模索して柔軟に予定変更をして、ベストを尽くす努力をすることなどがフィールドワークをするときに求められます。

【フィールド調査テーマ例】

- ・タイ北部の「ランナー文化」に関する調査
- ・チェンマイ料理の特徴について
- ・チェンマイの伝統芸能(舞踊や音楽)に関する調査
- ・チェンマイにおける移民の調査
- ・チェンマイのナイトマーケットと観光業



| 現地受入機関 | チェンマイ大学人文学部

チェンマイ大学が創立した1964年当時からある3つの学部のうちの一つです。タイ語、外国語、宗教、歴史、観光、コミュニティなどの分野において学部、大学院などで数多くの人が卒業しています。また、教員やスタッフにもタイ人や外国人がいて、学びと研究のサポートを行っています。受入機関の学年暦の前期は6月末から10月上旬、後期は11月上旬から3月上旬となっています。200人を超える教員と100人を超える職員がいます。学生総数は約3,200人で、タイ人が3,047人、その他は153人となっています。

現地受入機関 チェンマイ大学人文学部 Chiang Mai University, Faculty Of Humanities
所在地 239, Huay-kaew Road, Suthep Sub-district, Chiang Mai City, Chiang Mai Province, Thailand 50200
URL https://www.human.cmu.ac.th
宿泊情報 受入大学校内に併設してあります
ビザ Non-Immigration EDビザ(教育ビザ)
予防接種 そのつと要確認

【FW費用概算】

出発前	滞在中
渡航費 約20万円	食費 約15万円
海外旅行保険料 約10万円	宿泊費 約15万円
	交通費※1 約0.5万円
概算費用	約61万円

※1: 自由時間の外出時のみ必要